

ドーズ!

\$4.99

ELLIS & GEBBIA



メータードラグズ!



\$4.99

ELLIS & GEBBIA



I THINK I'VE
BEEN SELF-
MEDICATING
TOO MUCH
LATELY...

DOSE!



created by SEAN ELLIS & JOHN GEBBIA

story SEAN ELLIS

art JOHN GEBBIA

JP Translation YOSHIKO ISHIKAWA



原作 ショーン・エリス
作画 ジョン・ゲビア
訳市川佳子

Please read this comic from Left to right

この作品は、左から右へ読んでください。

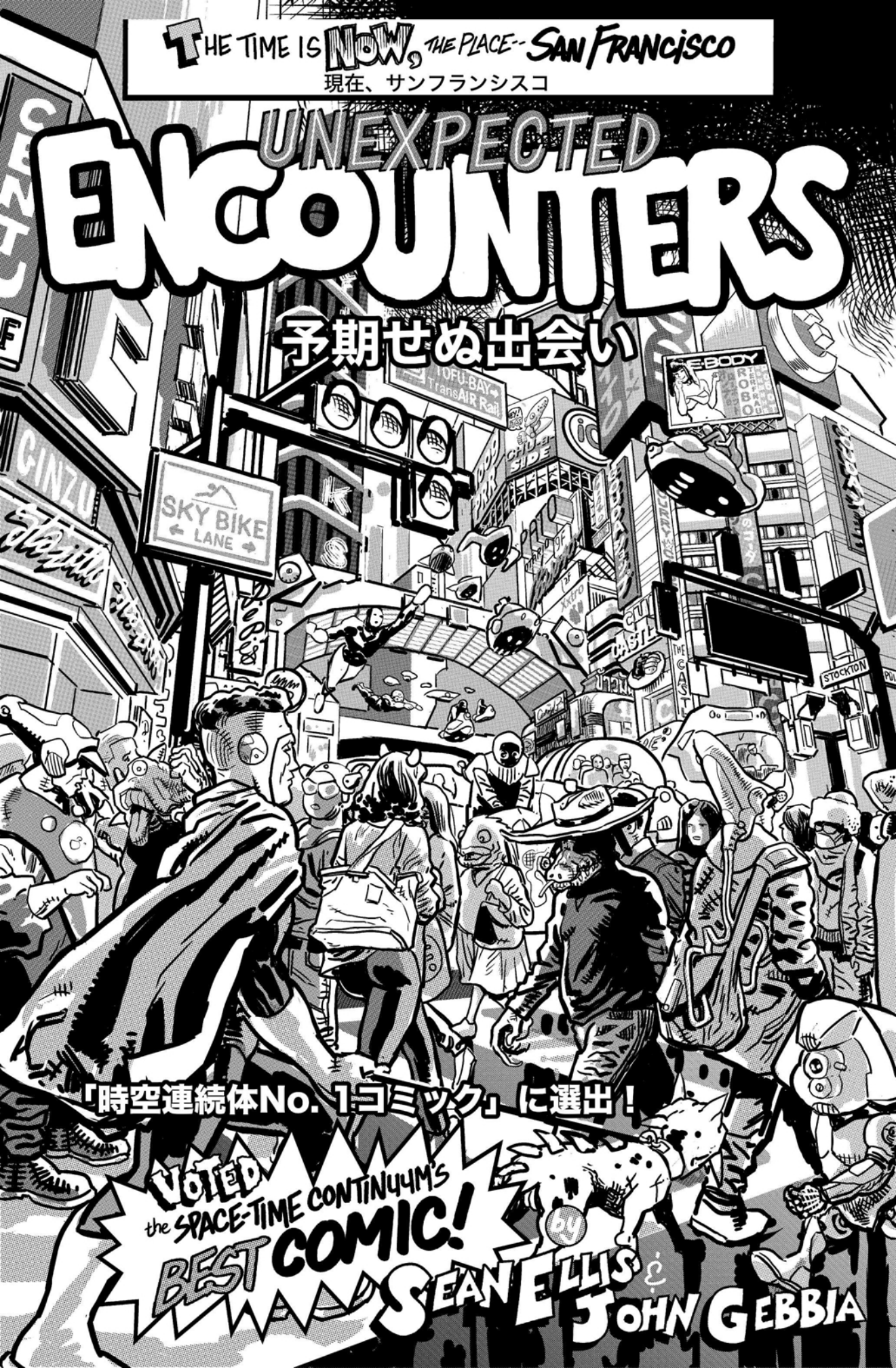
DOSE#1 JAPANESE EDITION, MAY 2023, FIRST PRINTING, DOSE! is
(c) 2023 Sean Ellis and John Gebbia. All Rights Reserved.
Any similarities to persons living or dead are purely
coincidental. With the exception of artwork used for review
purposes, none of the contents of this publication may be
reprinted without the permission of KAIJU COMIX. Printed in USA.



THE TIME IS **NOW**, THE PLACE-- **SAN FRANCISCO**
現在、サンフランシスコ

UNEXPECTED ENCOUNTERS

予期せぬ出会い



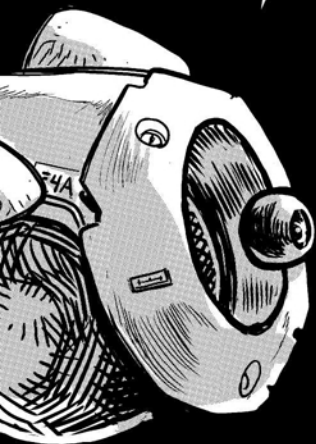
「時空連続体No. 1コミック」に選出!

VOTED
the SPACE-TIME CONTINUUM'S
BEST COMIC!

SEAN ELLIS &
JOHN GEBBIA



おい、
起きろ！
もう朝だぞ。
この役立たず。



まったく…
俺もできればこんなこと
したくないんだが…
他に手がない。

ムニャムニャ…

スカー——



ぎゃあああああ!!

ビリビリビリビリ



とにかく、頭痛を
どうにかしないと…
この手の痛みに効くのは
あれしかない。



ソニー、
あいつを用意してくれ。

ホロビデオもな。

ブーン

で、いつもより
いっそう激しく
ビリビリしたのは
何でだよ。



いいかよく聞け。話がある。

お前のそんな様子を
見ちゃられないんだよ。
うじうじうじ、一日中寝てやがる。
家からは一歩も出ない。
思春期にいろいろあったのは分かる。
友達も、おまけに彼女もなくなった。
そりゃあ散々な目に合ってる。
でもな、この状況からは
抜け出さないとマズいぜ。



やあ、ごきげんよう。

私は
ゼヴィオス・インフォコープの
モリス・フェンダーバウム。

ゼヴィオスは、
外界の暴力的な現実を
安心・安全のあなたの家にお届けします。
これはこれは、
ちょうどいい時に
いらっしゃいましたね。
街中の破壊・虐殺行為が
盛り上がってきて
いるところですよ！
お楽しみいただけること
間違いなし！
その前に、まずはスポンサーから
ひとこと。

確かにそうだな。
そろそろ
このゴミ部屋から
出ないと。

「もっと元気が欲しい。毎日の生活が
億劫で、憂鬱。」

そんなあなたに、朗報です！


ナマステ健康センターに来れば、
一発で元気100倍間違いなし！
この街で最高級の医療用覚醒剤、
抑制剤、抗うつ剤、
幻覚剤が手に入ります！

ナマステの薬は安全で、
不純物は一切入っておりません。
怪しい売人が取り扱うような、
怪しいメタ・ドラッグとは違いますよ。

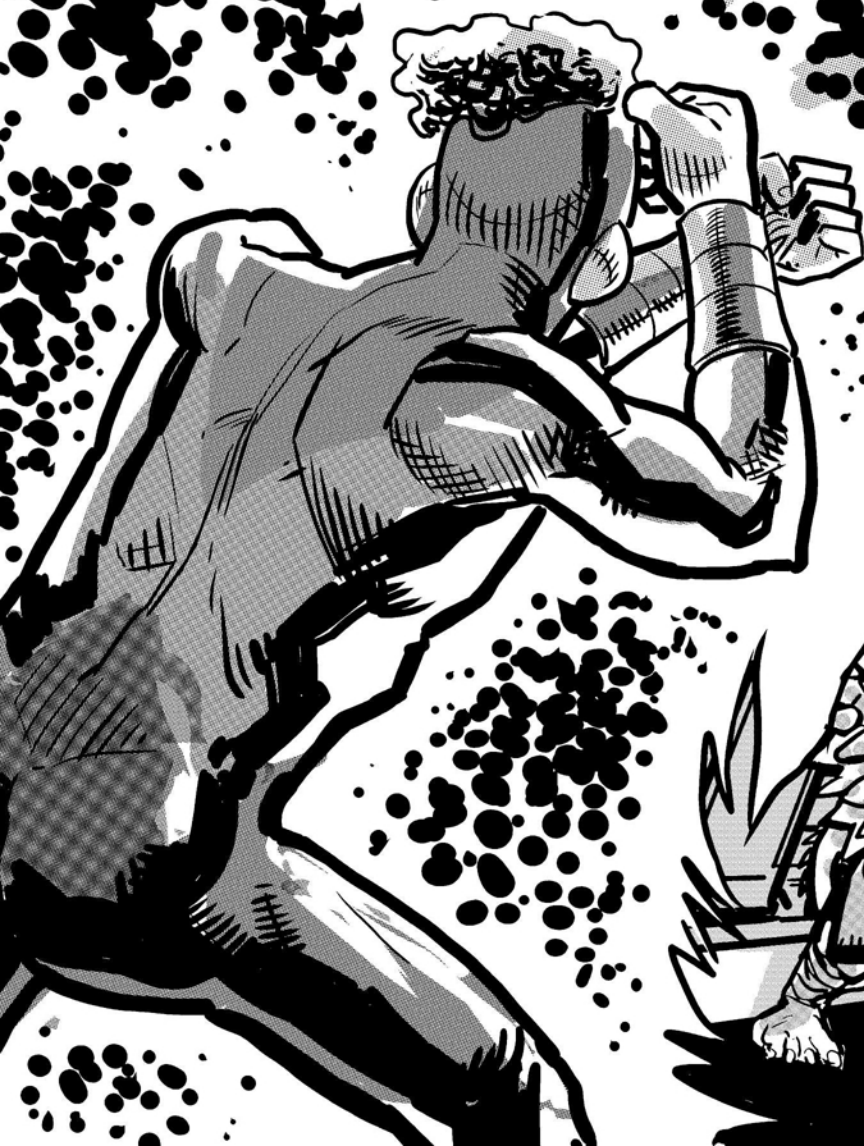
認証団体により…



合法的医療用薬物は
高えんだよ。
税金かかりすぎ。



我が社で最も視聴されているホロコーストは、
アガルタのセクト・ヒーローであるフリーク・ソサイエティと
悪のメタ・テロリスト集団であるライフ・サイクルの戦いだ。
フリーク・ソサイエティがこの憎きアホ共に
一刻も早く然るべき制裁を下すようお願いばかりだな。



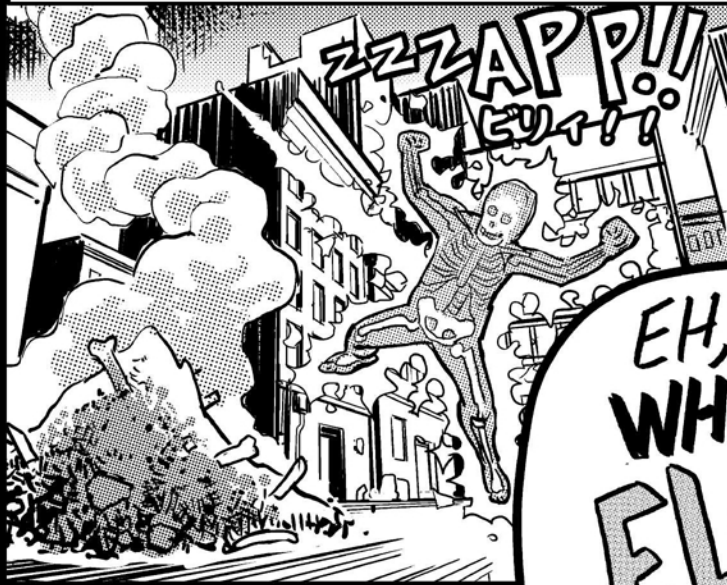


はたまた、トーフ・シティのトリネオン地区で発生中の
ギャングの抗争はいかがでしょう。
プラズマ光線がそこら中を駆け巡り、
分裂は広まるばかり。
罪の無い人々の無意味な死を、リアルタイムで視聴できますよ。

超人間主義者は常に、
人間の進化の次なるステップは
自分たちであると主張してきた。

しかし昨今この主義者たちの中に、
自らの子供に
人工頭脳刷り込みを行うことを
推し進めている人々がいる。

このトレンドは物議を醸しており、
我々は今後、倫理性や違法性に関して
調べていく予定だ。



HUMAN
RIGHT!

KEEP
HUMANS
HUMAN!

EH,
WHAT
ELSE
IS THERE?
他には？

カイジウコミュニティの
仲間たちより、
心温まるエピソードも
ありますよ。

10年連続で
トーフ・シティの
ベスト・ピザに
選出されたそうですね！
美味しいピザを焼く
秘訣を教えてください。

それから、
ベイエリアで
一番のピザパイ職人だとも
評判を伺っていますが、
ピザパイはどのように
作り方を
学んだのですか！？

秘訣はな…
家族だよ！

速報です！！
サンフランシスコで
最も愛されるメタ・ヒーローの一人
ピンキー・ブルーが、
ライフ・サイクルの手により残忍に
殺害されました。



THEY GOT
PINKY!
ピンキーがやられた！

両親のケイシーとメアリー・ピストレッシが、
路上にいた俺を家に迎え入れてくれた時から
全ては始まったんだ。

カイジウの子を養子にしたい人なんていなかったのに、
俺の家族は本当に良くてくれた。

いつも、血のつながった実の子のように接してくれたよ。

ERIAN
FORMATION

パパー！
これ
ブツ放している？

こちら、レーザーキャノンは
あくまで守備目的だ！
まあ、
少しくらいならいいか。
スタンに設定しておくんだぞ。

BORING!
だらねえ！

または、人類に多大な影響を与えたこの女性の
ストーリーはいかがかね。
死から逃れ、現代医学の道を180度変えた。

3年前のちょうど今日、
アリス・モントーヤの身体は
がんにより蝕まれていることが判明しました。
死の狭間でアリスは、
ある実験的な措置に同意。

彼女を死から救った奇跡のボディ・スーツと、
これを常に着用するアリスの生活に迫ります。

正直言って、
セックスが
恋しいわ。

恵まれない人々の為に活動し
町を守り続けたピンキーの死は、
多くの人々に悼まれています。

彼女の悲劇的な最後の瞬間を
目撃し、感傷に浸りますか？

OH No...

おい、まじかよ...



これだけいる
メタ・ヒーローの中で、
なぜピンキーが
やれなきや
ならなかったんだ!?

この一発目は
君に捧げるよ、
ピンキー!



ズズズー!!!



やっぱり
これだよなあ...

って、それよりピンキーだ!
ピンキーが死んじゃったよ、ソニー!

もしかしたら狙われるのは
俺だったかもしれないんだぜ!?

いや、今こっちに向かってるのかも...
殺戮ロボットに巨大タランチュラ...!

どうする、俺達もう終わりだぜ、
ソニー!!
死んだも同然だ!!!

おいおい、落ち着け!
深呼吸だ。
お前が今そう考えるのは
クソりのせいだ。
誰もお前が誰かなんて知らない。
ここにいるって事もな。
追ってくるヤツもいない。
ここにいりゃ安全だ。

最後に飯を食ったのはいつだ?
何か胃に入れたほうがいい。

そ、そうだな...
ちょっとキマリすぎた。
深呼吸深呼吸...

俺のことは、誰も知らない。

何か食った方がいい。水も飲みたい。
喉がカラカラだ。

とりえず、
もう一回ってのはどうだ?
気分を落ち着けるためにさ...

もう十分だろ。

しかも、
家にあるメタファンは
もうそれで最後だ。

意味分かるだろ。

残念だったな！

おい、嘘だろ！？
まだちょっとはこの辺に
転がってるはずだ！
探せば絶対に見つかる！

クソツまじかよ。
お前の言う通りだ、
本当にない…
なんてこった。

もういい！このままだと
おかしくなる。
とにかくここを出ないと。

何か食べて、
やることも見つける。

モリス、
今夜何があるのか
教えてくれ。

テレビ・ネットワークのSNSでは、
プレジャー・ドームでのイベントについて
の話題が多いですね。

イベント情報の詳細には、
「感覚と知覚の探求とその展開」
とあります。

音楽のジャンルは、
「リミナル・スワンプとウージー・ポップ
のフュージョン」。

PLEASURE DOME

523 Vermont Ave
2.3 miles away

感覚と知覚の探求とその展開」ねえ…
なかなか面白そうだ。
俺の「知覚」も何か必要だもん。

で、リミナル・スワンプとウージー・ポップってのは
一体何なんだ？

よーし、その調子だ。
なんか腹に入れてから行けよ。

それから、トラブルには巻き込まれないよう
十分注意すること。


分かってる。
さっきは
怒鳴って悪かったよ。
やっぱり俺には
お前しかいないな。

いいってことよ。
親友だろ。

ソニー、
オムニ・ボックスが
要る。

とってきて
くれないか？





今考えてみりゃ、
ペイン・ティーンズを
クビになったのは
悪くなかったのかもな…
今頃死んでもおかしくない。
ピンキーみたいに…
メタ・ヒーローは
結局命懸けの商売だ。

そんな世界からは
そろそろ足を洗って、
マジの仕事を探さないとな。

しかし、雇ってくれるとこなんて
あんのかよ…

俺のスキルといえば、
ボクシングくらい…

おっここなら
メタフィン
あるんじゃないか？

…まあ
月曜からシラフになりや
いいだろ。

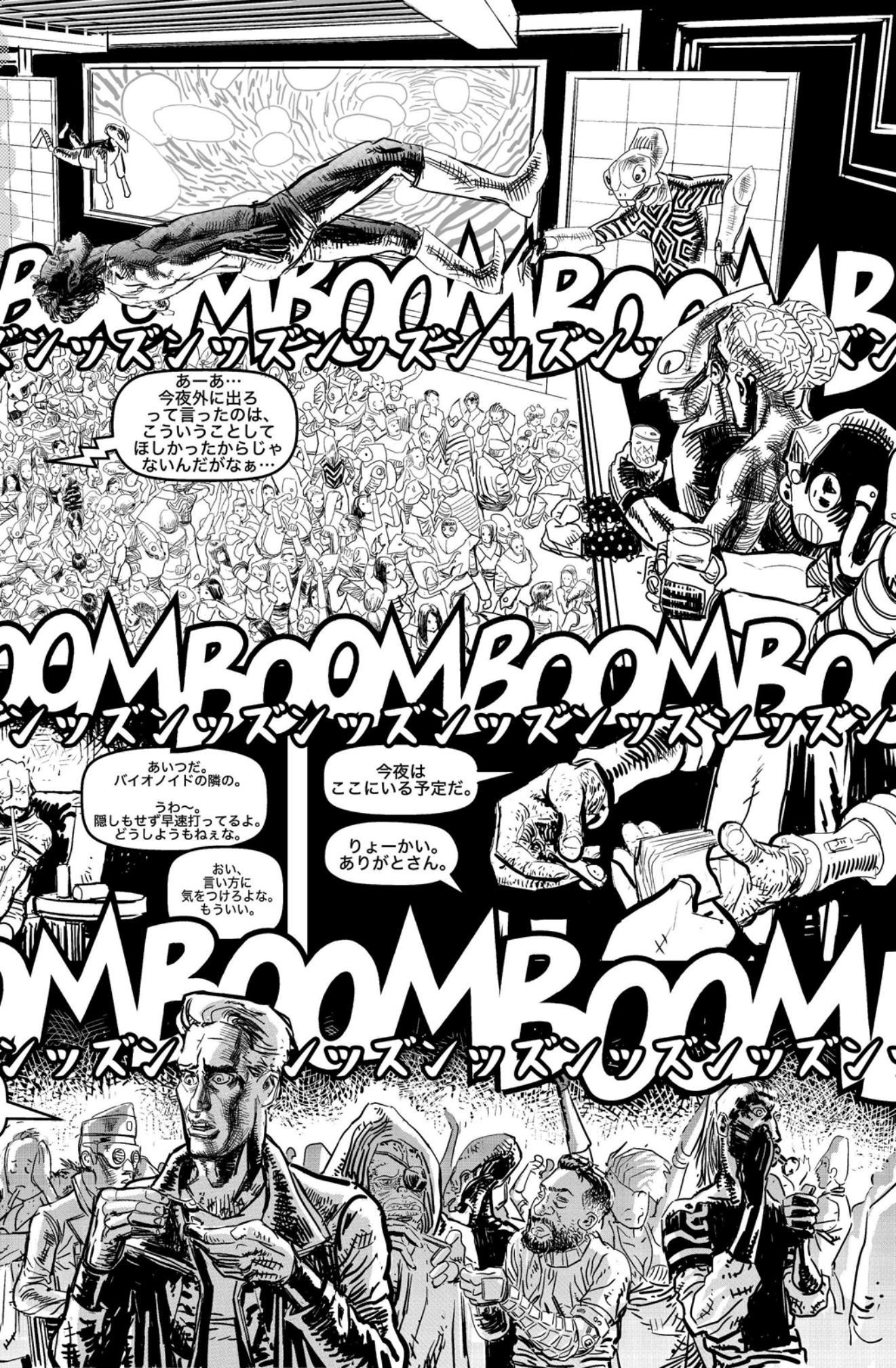


ソニー！
ここで一番お手頃な
メタフィン・ディーラーの
場所とホロ・イメージを
送ってくれ！

そんな声だすなよなあ！
ちょっとくらいいいだろ。

あまり調子に乗るなよ。
とにかく今日は
やりすぎるな。

さて、と。
このパーティーは
一体何なのか、
調べる時間だ。





フロアでは
マスターセッション
禁止だ！！

ハハハ…！
あまり正気のヤツは
いないって
感じかな！

おいおい
なんだってんだよ

クスリがダメだって
言ってんじゃねえ。
ただこのフロアで
やるな。

もうすぐ
メタ・ケイトの
出番だ。
ODされちゃ
困るからな。

もっとも、
ケイトがステージにありがや、
そんなもん必要ねえよ。
ハイになりたきゃ
黙って見てな。

はあ？
メタ何だって？？
ハイになれるって…

興味アリだ…！

おいおい
メタ・ケイトを知らないで
来たのかよ。
ここにいるヤツらはだいたい
全員ケイト目当てだ。

ちゃんと自分でも
味わうことだな。

アッという間に
てっぺんまで
行くぜ。その後は気をつける。
踏みつぶされないようにな。

マジかよ…
人をハイにする
能力がある
メタって事か…？

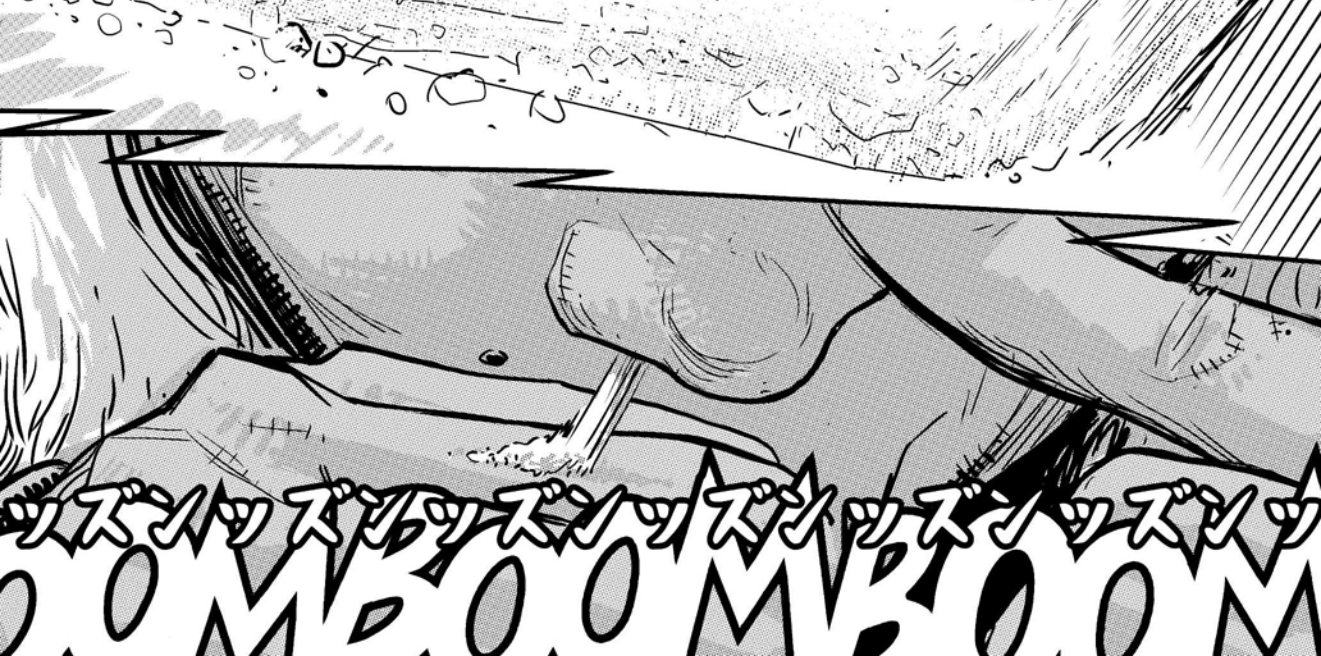
ホラ吹いてんじゃ
ねえだろうなあ？

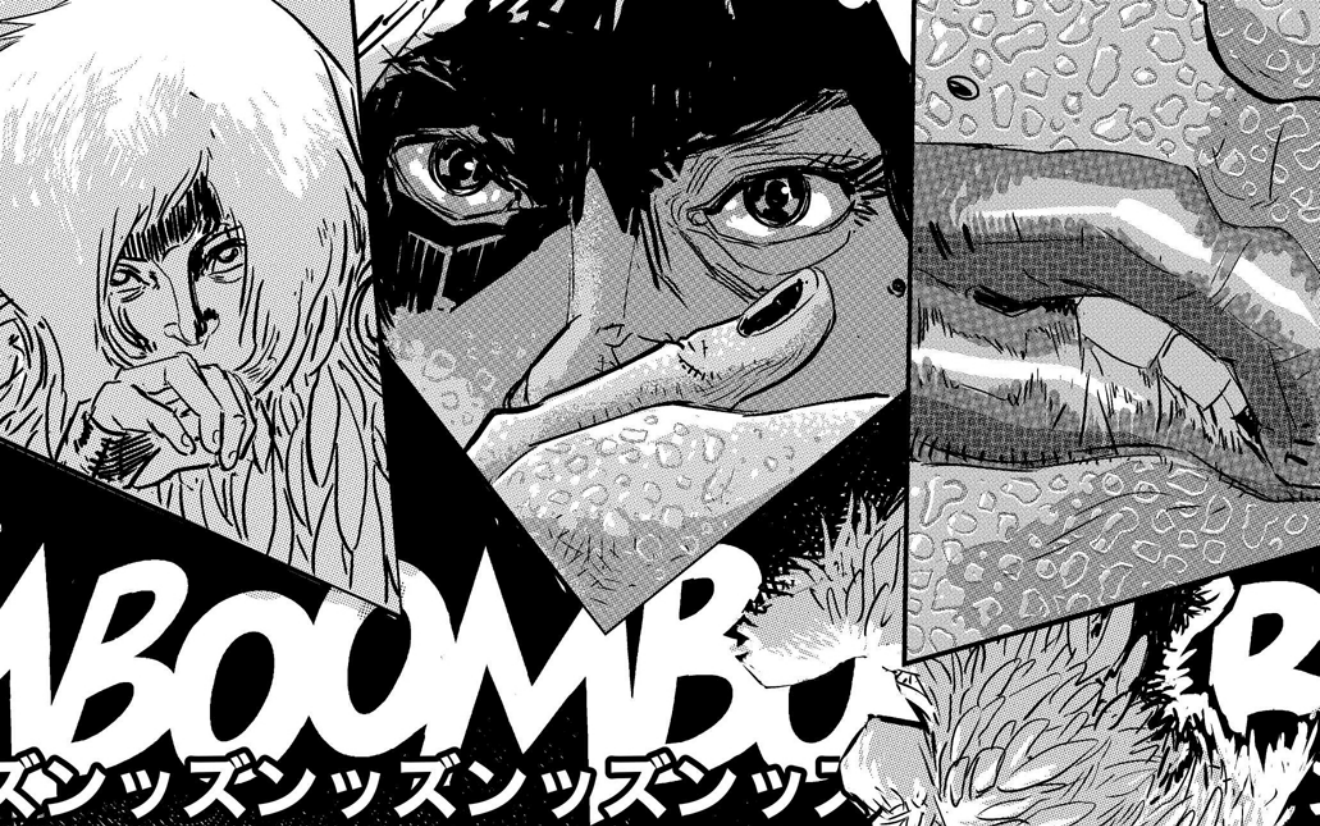
疑ってんなら
自分の目で
確かめるんだな。

あ、それから
これだけ…

ケイトのトラップにはまらねえよう
気をつけろよ。

うっりしてると、
出てこられなく
なっちゃうからな。





快感の女神、降臨!!!

エクスタシーの
ご加護を
今!!!!





よーっしや、
いくぜえ…!!!

ZOOM BOOM BOOM BOOM



おい、
もっと応援がねえと
やべえぞ！！！！

ねえ、もう疲れたんだけど。
アタシ、
キャンディーが
欲しいの。

はい...!!!
今
すぐに...

人手が
足りねえんだとよ
...!!

カチャツ

誰も通すな！！！！
ケイトが
チャージするぞ

一体
何だっただ？？

[illegible]

俺だって、試したいぜ!!

BOOM BOOM BOOM

[illegible]

ご加護って やつをな!!

つづく!

TO BE CONTINUED!

ボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボン

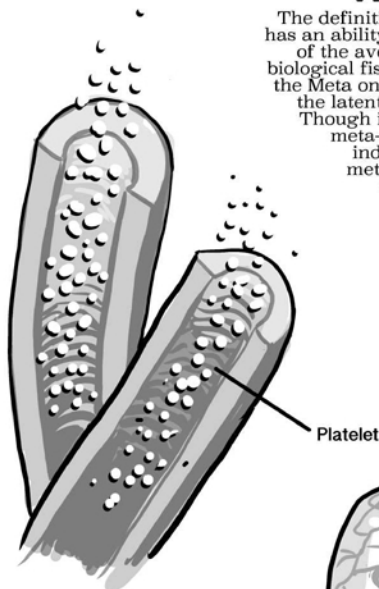
TO BE
CONTINUED!

META-BIOLOGICAL TRANSMOGRIFICATION

Understanding the Transmogrification Process Within

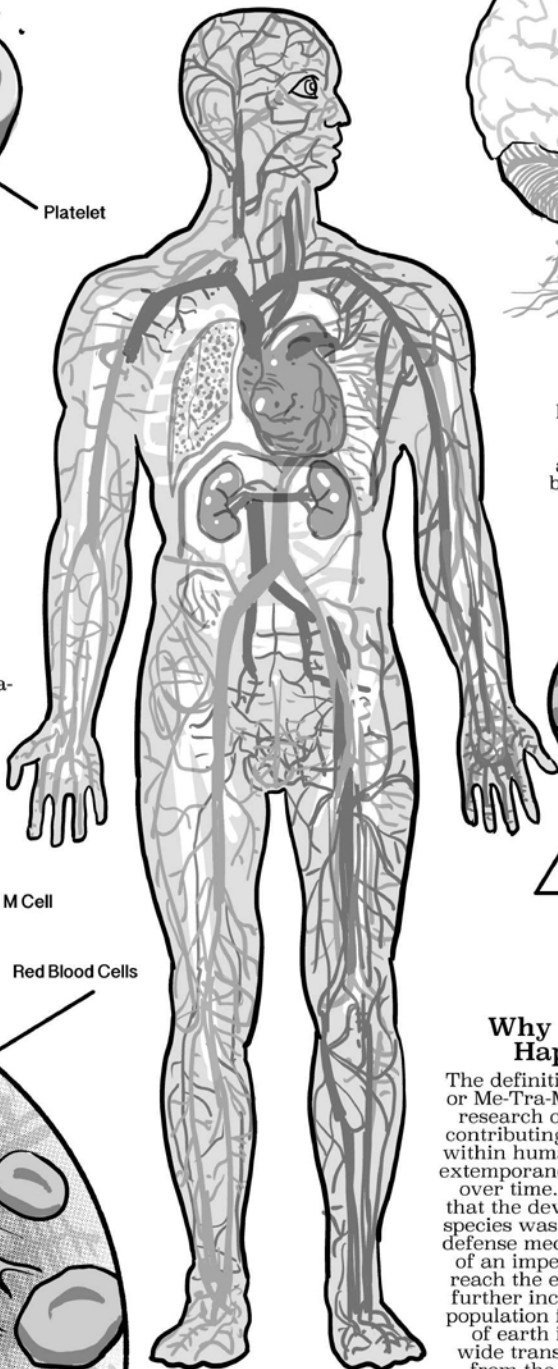
What is a Meta?

The definition of a Meta is simply any person who has an ability or abilities beyond the reach and scope of the average human being. In most cases, a biological fission has taken place within the body of the Meta on a cellular level, acting as a catalyst for the latent potential held within the individual. Though it is currently unknown why specific meta-abilities develop within particular individuals, the emergence of said meta-abilities can alter the make-up of an individual's personality over time.



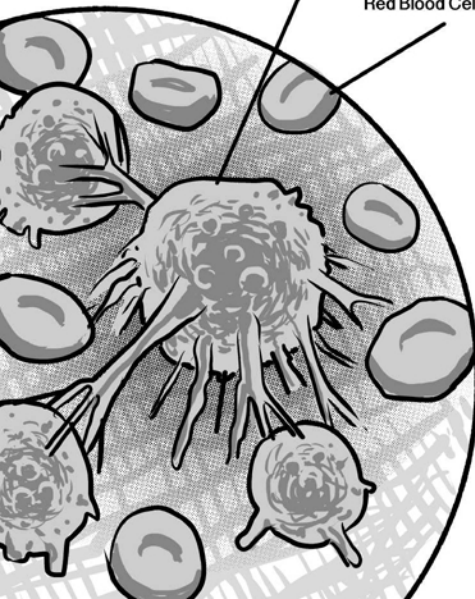
Platelet

The M Lymphocyte or M Cell undergoes multiple spontaneous mutations which begin the process of transmogrification on a nano-microscopic level. Although we still do not understand what triggers this change within the individual, this process repeats itself at an increasingly exponential rate throughout the body until it manifests into an External Meta-physical Expression or an EME state. This EME state can range anywhere from extreme meta abilities to those which are utterly and completely useless.



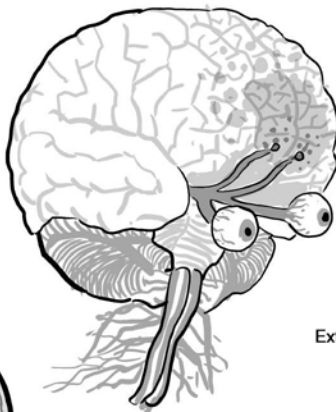
Mutated M Cell

Red Blood Cells



The Brain

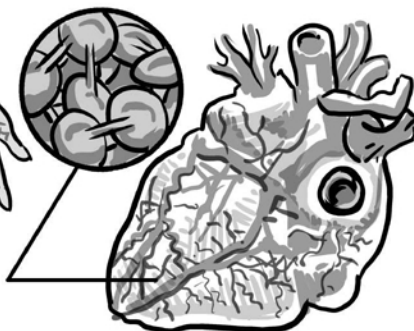
The place in which all meta-abilities are controlled and regulated. The constitution of the metahuman brain differs substantially from that of the non-metahuman.



Extreme Brain Folding

The Heart

Similar to that of the brain, the heart usually undergoes a similar type of transformation once the onset of meta-abilities occurs in an individual. A greater capacity becomes necessary in the coronary system in order to accommodate the stress placed upon it by said meta-abilities. Without these changes, sudden and massive heart failure becomes a distinct possibility.



Why Did Transmogrification Happen Within Mankind?

The definitive cause of Meta-Transmogrification or Me-Tra-Mog has yet to be established, though research originally suggested the main factor contributing to the development of meta-abilities within humanity was predicated upon seemingly extemporaneous conditions that merely increased over time. Later theories speculate, however, that the development of meta-abilities within the species was initially a precognitive collective self-defense mechanism against the existential threat of an impending alien invasion that would not reach the earth until nearly a decade later. The further increased expansion of the metahuman population following the daikaiju seijin invasion of earth is thought to be yet another species wide transformation triggered and manifested from the collective unconscious of humanity against the existential threat of metahumans themselves. That is to say, more metahumans began manifesting upon Earth in order to guarantee the survival of the human species against this very threat of metahumans.

The Fetishization of the Meta-Human:

A Freudian Psychoanalysis of Our Society's Relationship with the Modern Day Meta Hero

Since the appearance of the first costumed meta-hero, The Best Man in 1938, and the hordes of “first appearances” of both meta-“heroes” and “villains” that transpired shortly thereafter, the public has held a seemingly single-minded and all-encompassing fascination with the meta-human. As the adoring public was all too eager to consume any and every detail related to the meta-hero, a seemingly never ending stream of products, endorsements and corporate sponsorships were soon to follow. With the arrival of the “meta-genius” as a part of the second exponential increase of the meta-human population in the sixties, the trajectory of human history would be irrevocably altered even further as ideas previously relegated to the realm of science fiction soon became that of reality—men in mechanical suits of armor and fantastic cars flying overhead became common sights while the nascent field of space travel quickly gave way to that of multidimensional exploration. Before long, this technological upheaval would permeate our daily lives in the form of a vast array of technological gadgets and shiny new products; one not entirely unexpected development of this, however, was the public now had twenty-four hour access to the public and private lives of the meta-hero. Their exploits became our news, our salacious gossip, our entertainment and our national obsession. Whatever negative attributes we might associate with the comingling of meta-heroes and corporate interests and the compromised ethics this may be thought to entail, there is no denying this media scrutiny contributes to the continual aggrandizement of the meta-hero within our society. Though without a doubt it is our collective society that has engendered the meta-hero, and to a lesser extent the dreaded meta-villain, an exalted and nearly godlike status, it becomes necessary to ask why we have anointed the meta-human such standing and from whence do these underlying

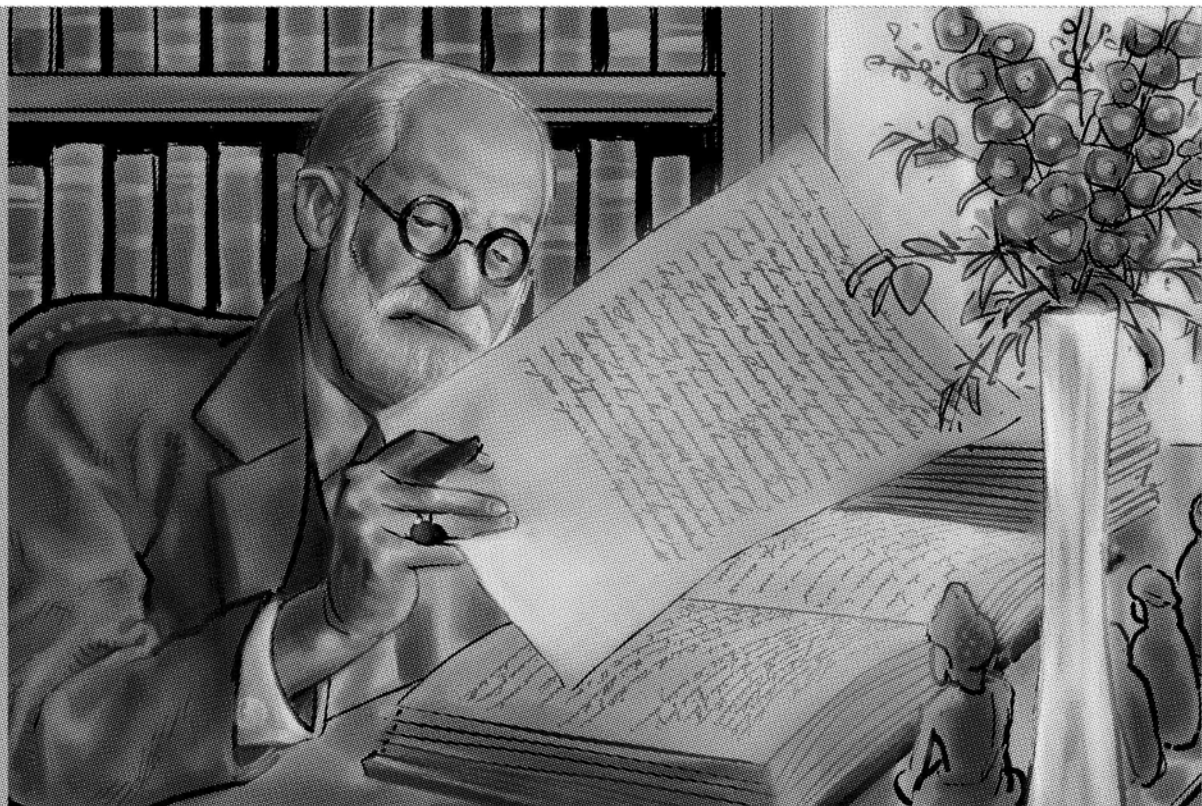
psychological processes originate? I would argue that the sycophancy with which we display towards the modern day meta-hero is neither a natural nor logical outcome, but that we are remembering, repeating and possibly working through the anxieties and compulsions of an ancient and inherited collective unconscious. To examine the underlying psychological processes which initiates this collective behavior, I would suggest we turn







our attentions towards what we might consider one of history's early proto “meta-geniuses” and the father of modern psychology, Sigmund Freud. In his essay “On Fetishism,” (1927) Freud writes: “a fetish is an object believed to have super-natural powers, or in particular, a human-made object that has power over others.” At this point in his essay, it is of vital importance we do not confuse Freud's use of the term “fetish,” with that of our more

common understanding of the term, that of a sexual fetish, an object which elicits sexual excitement or arousal most commonly in men; though we will, however, revisit this concept of sexual fetishes and their relation to the meta-human, later in this essay. Perhaps the closest modern day equivalent to that of the primordial man and his sanctimonious fetishes in our society is that of the comic book or record enthusiast who carefully seeks out, painstakingly preserves and meticulously archives his sprawling collection for either amusement and/or posterity. Coming back to Freud's use of the term supernatural as: "some force beyond scientific understanding of the laws of nature," with common synonyms including: psychic, magical, occult, mystical, but of particular interest for our purposes, *superhuman*. Just as the concept of science itself was beyond the understanding of the primordial man, so too was the notion of the meta-human beyond even Freud's most fevered, cocaine inspired musings. However,

we see quite clearly that synonymous with the definition of the supernatural is that of the superhuman, a term for what we currently understand and associate to be the modern day meta-human. It is here which we can draw a very direct link between the notion of fetâishism in the primitive man with those of his religious artefacts, the primitive man believed those artefacts to be conduits of his gods if not the very gods themselves, to that of our own modern society and the fetishism with which we attribute towards the meta-human, those we might think of as actually having godlike powers and abilities themselves. The underlying psychological mechanisms which contribute to this association within society and to our own fetishistic behaviors are no doubt symbolic and reflective of the primordial man and his associated fetishes, though instead of objects that are believed to have supernatural powers, the meta-human is instead invested with otherworldly abilities.



	3:19 PM - 3:19 PM	0.5 SEC
	3:19 PM - 3:22 PM	3 MIN
	3:19 PM - 3:25 PM	6 MIN
	3:19 PM - 3:56PM	12 MIN



Screw Worm's Apartment

San Francisco

Oakland

Alameda

Tofu City

Daly City

San Bruno

Millbrae

Burlingame



Pleasure Dome
Destination: 2.5 miles



Event Tonight:
Pleasure Dome

Consciousness and Mind Expansion





カブセ

階

この先

101



JOY GIRL

omni-vision

76

ZEBAKZ

CURRY CASO

24時間
ZEBAK
CYBERNETIC PARTS

SKY LANE
OPEN

ビール
HOY HOY

TIME
LOCK

MUNDO

MMMM...
KAIJUICE!
32% 酒
Strong Boy
PET
friends 4
life

ピザ
GINZ
案内所
I FOUND YOU

GIANDORA STATION